

スワロと びみこの扉

渡来 亜輝彦

お買い物にきていたら扉が自動で開きました。自動ドア便利ですね。

スワロは戦闘用アシスタントですが、お昼寝してしまったご主人の代わりにお買い物だつてするんですよ。本当にいろいろな面倒みなきやいけなくて大変ですが、お買い物にいくと、レジの奥様たちに「スワロちゃんえらいわね」って言うてもらえるのでちよつとうれしいです。

それにしても扉。扉っていいですね。いろいろな入り口や出口。新しい世界に踏み込める扉もあるみたいです。ご主人もそういつてました。そういうの、詩的で良いなとスワロは思うのです。

しかし。そんな風にご機嫌でお買い物から帰ってきたところで、その扉のことで、スワロは悩むことになりました。

部屋の扉が壊れてるー！
なぜ？ なにがおこった？



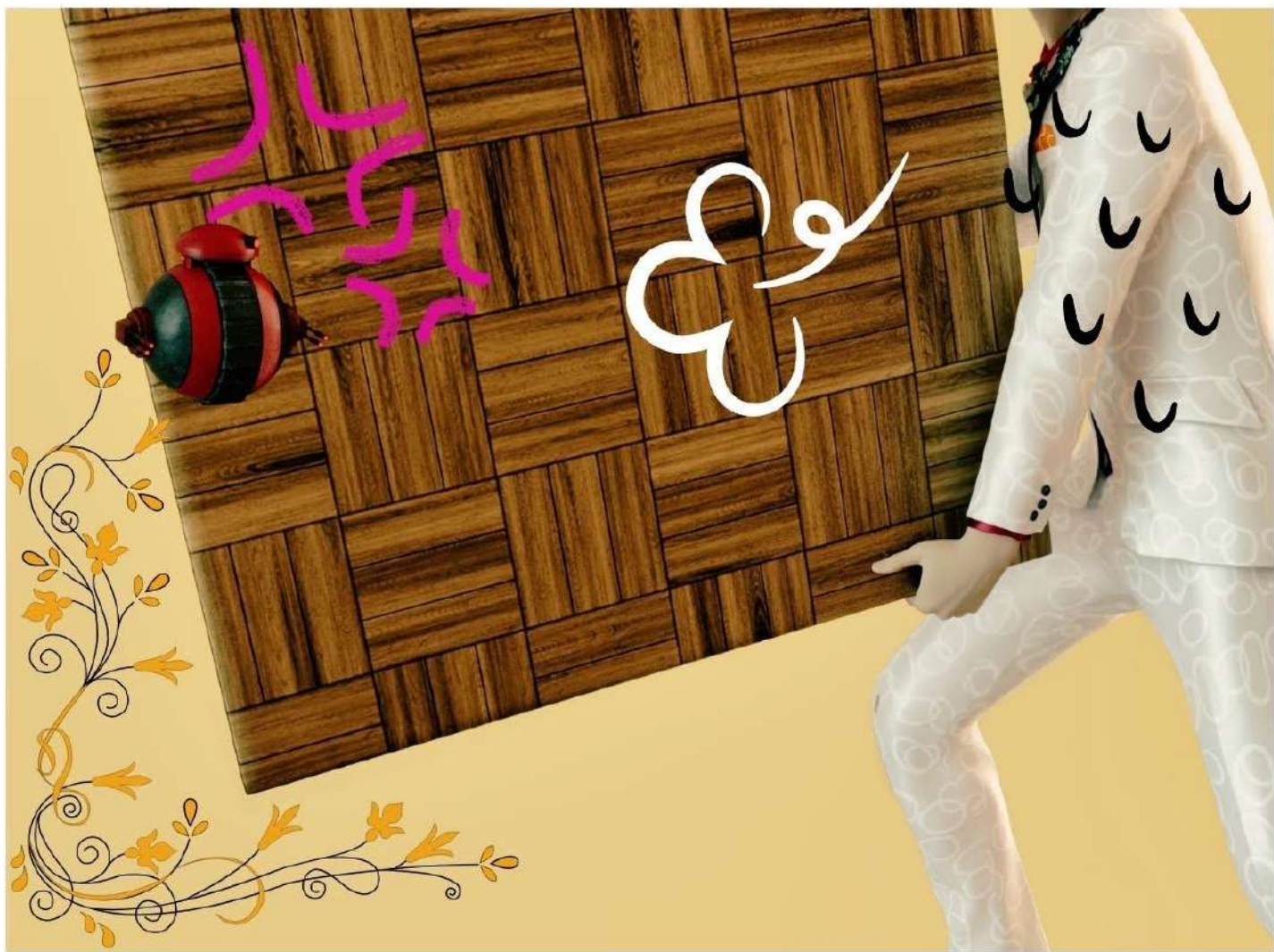
「しよ、しよがねえだろ！ 寝ぼけてたし、外にでかいヤツがいてさあ。一気にエンジンかかってよっしやああって飛び出しちまったら思わす蹴倒したんだよー」

ご主人とスワロが住んでいるのは、郊外の廃墟街。特にご主人がいるのは、フェンスの外に近くて、危険な囚人と呼ばれる怪物が忍び込みやすいので他に不法占拠する人があまりいなくて住みやすい（ご主人曰く）ところです。なのでたまに襲われるので応戦するのも大切です。でも、壊していいとは言っていない。

「真っ二つに折れるとはな。あー、接着剤でくっつかねえかなあ」

そんなんでくっつくわけないですよ！

ご主人のばか！ ばか！



「んじゃあ、カーテンで。季節もいいしー、なんか覗いてくるやつとかいねえし、いいんじゃねえ？」

ダメに決まってるでしょ。ご主人、デリカシーが皆無です。

こういう時は、こうむてん、呼ばなきゃ。

「でも金ねえし、廃墟街にくるカタギの工務店なんざあいねえって。大体、他の隠れ家たくさんあるし捨ててもいい……なんだよ、ここお気に入りなのか？ さてはスーパーが近いからだな。お使いの時、楽なんだろ」

その言い方なんかちよつと腹立つ。

スワロが睨むとご主人は、むーと悩んでため息をつくのです。

「わかったって。同じ扉拾ってきて修理するからよー」



廃墟街にはたくさんの棲家だったタテモノがあります。元々集合住宅のつもりで建てたらしいですが、色々あって放置されたってご主人が言っていました。という事で素材はたくさんあります。

「この扉でいいかなー。でも、いざってなると飾り付けたくなるなあ」

面倒くさがりですが、ご主人、やり始めると意外と凝り性なのです。変な方向にスイッチが入りました。

「んー、しまうまみてえなゼブラ柄とかオシャレじゃね？ それか、乱暴なヤカラが煽られて入ってきそうな煽り属性あるステッカーめっちゃ貼るのもいいかも。なんかのホイホイみたいになって俺が楽しい。え？ 嫌？ じゃあ、スワロが好きそうな感じにドピンクに塗りたくってふあんしーにしてやろうか！ あー、前衛的で可愛いじゃねえか！ 俺、すげえセンスいいな。センス良すぎて自分怖い！」



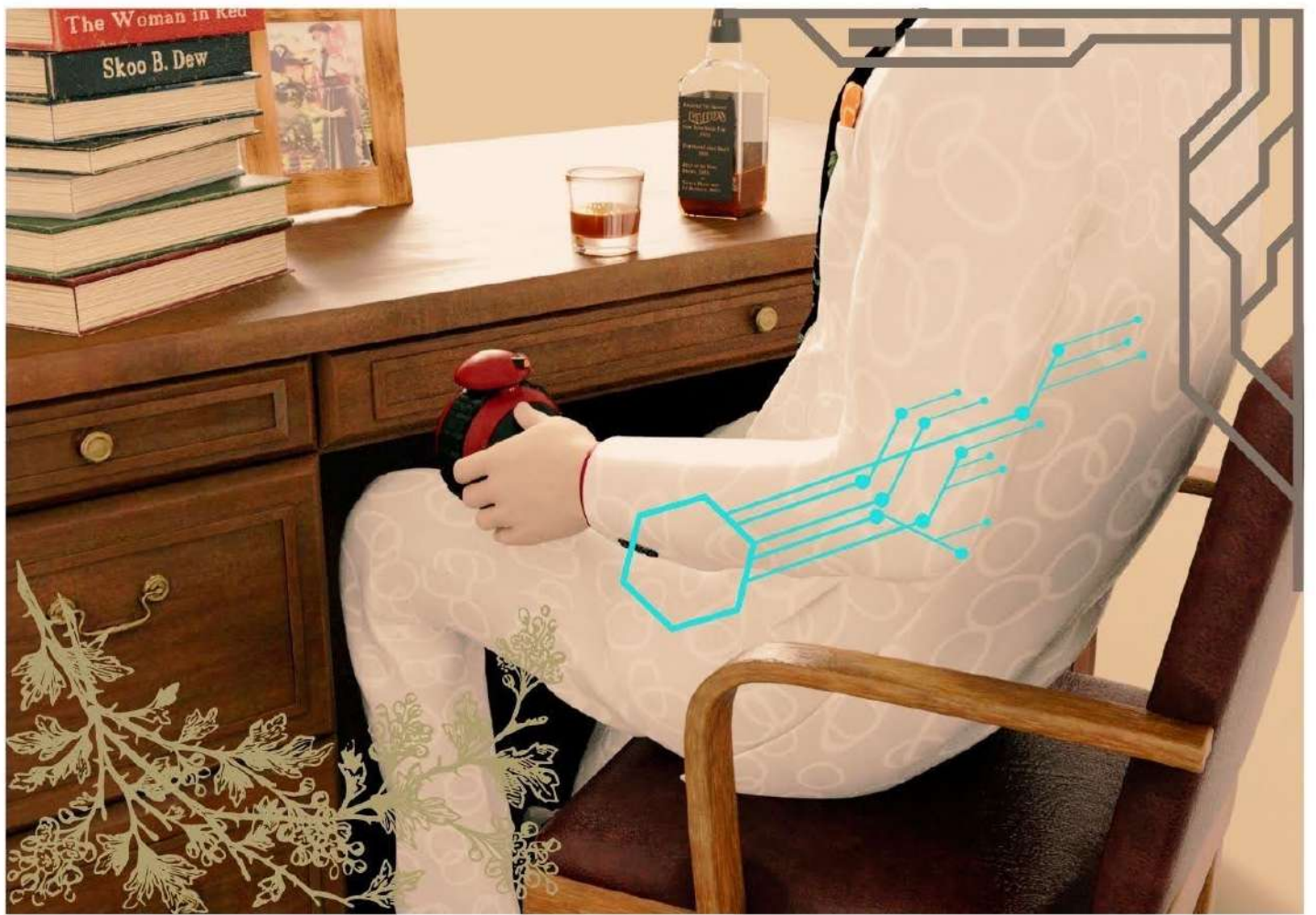
本当、ご主人、あたまおかしいな！
結局、ご主人を説得して穏当な木目調に
してもらうことにして、スワロはやつと一
安心です
(ご主人はちよつと不満そうでしたが)
けれど。

ご主人の作業中、スワロ、扉で一つ思い
出したことがありました。

このハイキヨのずっと下、地下室にふる
いふるい秘密の扉が一つあるのです。

5

その扉はご主人の生体認証でしか開けら
れないので、スワロでもめつたに入ること
はありません。たまに「今日はお前も連れて
行ってやるよ」とご主人は言って連れて行
つてくれて、その時にだけいけるのです。
開けると狭い部屋がひとつ。ベッドと机
とクローゼットしかない部屋です。
ご主人はそこでくつろぐだけで取り立て
て何もしません。



机の引き出しの中には古いいろんなものがあるようでした。古い本や古い手紙や古い文房具。それはなんとなくキラキラしたものが多かったです。

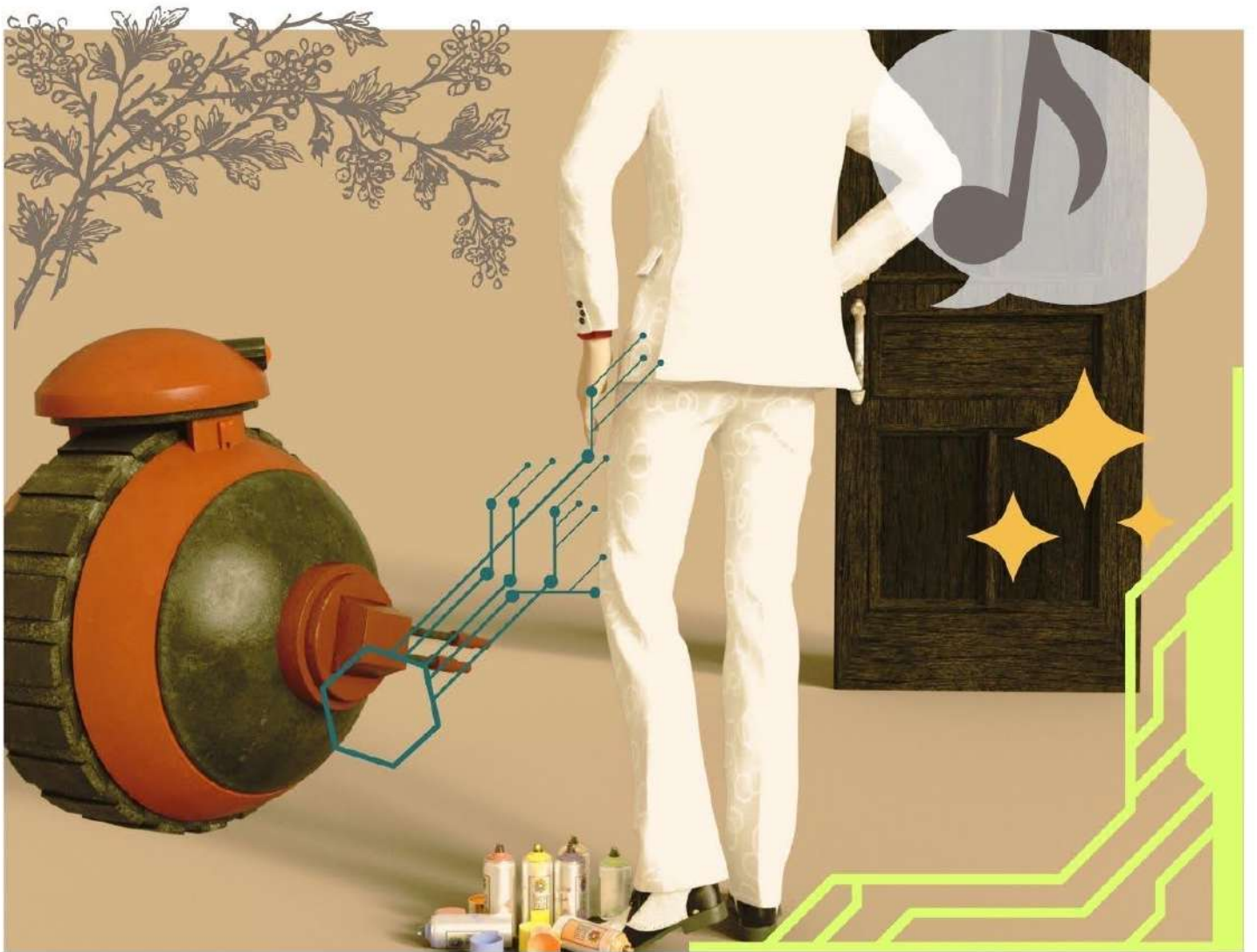
高価なものはないけれど、ご主人の宝物みたいです。

そして、ご主人のその机の上には写真立てがあつて、ご主人とよく似た男と小鳥と女の子が映っている写真が飾られていました。

スワロはそれが誰かを聞きませんけれど、ご主人がその部屋を大切にしまいかんでいるのをスワロはわかっています。

だからご主人がスワロをここに連れてきてくれたのともうれしかったです。

外に出るための扉があれば、中に入るための扉もあるのかな。未来への扉があれば過去への扉もきつと。



あれは、ご主人が大切にしている過去への扉なのかもしれません。

ご主人は何も言わないけれど、だからスワロは隠れ家の中でもここが一番好きなのでした。

ここにはスワロにも開かれた、ご主人の過去への扉があるから。だからできたら引越はしたくないのです。

「よーし直ったぞ。我ながらよく出来た。お前もそう思うよな！ ふははっ！」

ご主人はご満悦の様子です。ここからなんか変な飾りとかつけそうですが、とりあえず今は褒めてあげよう。

とご主人と目が合いました。

「なんだよー、新しくなったドアを開けてみたいのか？ お前新しいの好きだよな。お前もわかりやすいなっ」



そんなのご主人だけですよ。
ご主人と一緒にしないでほしいで
す。が、そんな抗議をする間もなく
頭に帽子を被せられました。
「じゃあ散歩しようぜ。帰ってきて
開けるの楽しみだな。いつもと違う
部屋になってるかもしれねえぞ。
扉ってのは新しい場所への入り口だ
からなあ」

新物食いはご主人なのになー。
そんなふうに呆れつつも、ご主人
の言うとおりで癪ですが、スワロも
新しい扉を開けるの、ちよつと楽し
みになるのでは。

「スワロと
ひみこの扉」
A'-II'-UIIIO
「扉（戸、ドア）
2023.5.19発行
@fourdart

